

3類型	観光資源	通巻番号	1-19-012
地域資源名	イムノリゾート上士幌、 ぬかびら温泉	認定日	平成19年10月12日
地域	北海道上士幌町	所管省庁	国土交通省、経済産業省

事業名:「スギ花粉リトリート(疎開)ツアー」による糠平温泉郷 全国ブランド化への挑戦

会社名:テルメン観光 株式会社
 連絡先:TEL:01564-4-2210
 FAX:01564-4-2625

所在地:河東郡上士幌町字糠平
 H P : <http://www4.ocn.ne.jp/~nukakan/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・糠平温泉郷が有する優れた観光資源と運営ノウハウを基盤とし、スギ花粉の無い地域の特殊性を生かした「スギ花粉リトリートツアー」は、当社も参加したイムノリゾート上士幌プロジェクト実行委員会が開発した。
- ・「免疫バランス」関連ノウハウを取り入れ、体内の免疫バランスの改善と食・健康・医療を融合させた新たなリゾートサービスを構築し「スギ花粉リトリートツアー」を糠平温泉郷のブランドとして育成していく。



【スキー場と温泉街】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・我が国で、スギ花粉の無い地域は、北海道(道南の一部を除く)以外は沖縄県のみである。沖縄県での「スギ花粉リトリートツアー」には、スギ花粉有病者向けの特別企画は何も盛り込まれていない。当社は、イムノ認証制度(1)を活用し、免疫バランスをキーワードに、スギ花粉有病者向けにアレンジしたスペシャルプログラムを提供することができる。

◆市場性

- ・調査データによると、スギ花粉症の有病率は国民の約20%相当(2,450万人)、年間医療費は3千万円(2)、有病者の3分の2が医療機関での治療や市販薬等により症状を緩和させており、労働損失は1,400億円強(3)となっている。これらの調査結果から、スギ花粉症発症時期に、一時的に北海道等の地域に避難をする潜在ニーズは高い。
- ・「スギ花粉リトリートツアー」には、有病者のうち1万分の1=2,450人の参加者を想定し、1泊5千円で1人3泊として年間3,675万円の市場が想定される。



【タウシュベツ橋】

◆販路

- ・複数の大手旅行エージェントや、インターネットの活用など各種チャネルを総合的に開拓し、全国的に市場拡大を目指す。

地域資源における関係事業者との連携

- ・アウトドアスポーツについては、NPOひがし大雪自然ガイドセンター、「イムノ認証」制度については、NPOイムノリゾートセンター、宿泊については糠平温泉組合との連携を図っていく。



【スノーシュー体験】

(1) <http://www.immuno.jp/c07/index.html>

(2) 全国免疫学調査にみるスギ花粉の実態調査[2004年]

(3) 環境省の花粉飛来時期に有病者を対象とした治療状況の調査より